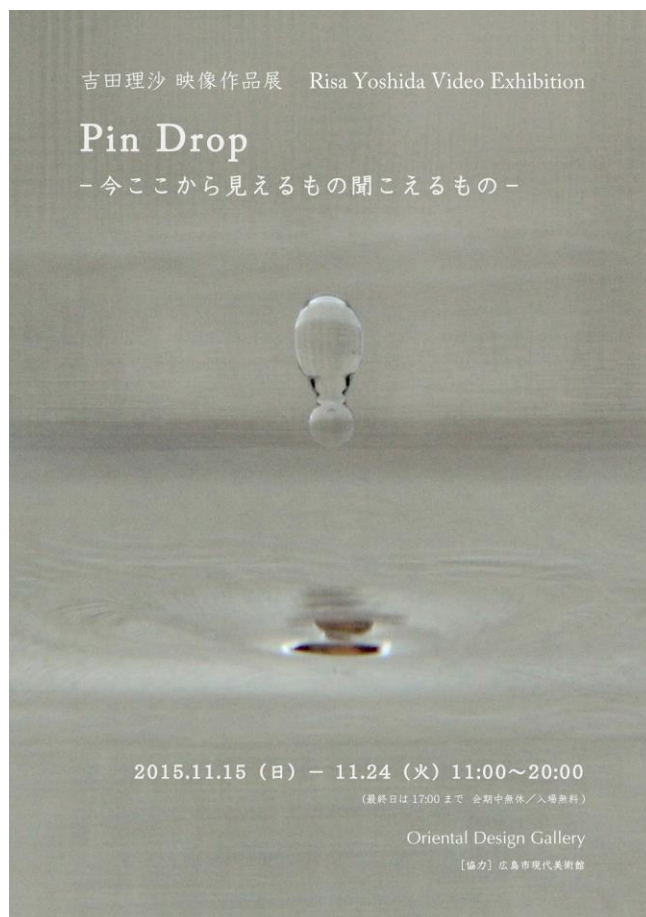


## ギャラリー展示

吉田理沙 映像作品展 Risa Yoshida Video Exhibition

# Pin Drop - 今ここから見えるもの聞こえるもの -



- 期間：2015年11月15日（日）～11月24日（火）無休/入場無料
- 時間：11:00～20:00（最終日は17:00まで）
- 場所：オリエンタルホテル広島 1階 オリエンタルデザインギャラリー（広島市中区田中町6-10）
- 協力：広島市現代美術館

### ■展覧会によせて

本展覧会タイトル『Pin Drop』とは、慣用句“one could hear a pin drop”「水を打ったような静けさ」という表現と、GPSにおいて特定の位置を示す「ピン」を地図上に置くという、二つの意味合いを含んでいます。

私たちは今どこにいて、何を見聞きし、どこへ向かうのか。普遍的ともいえるこの問いに、私たちは今まさに具体的な回答を迫られているのではないのでしょうか。現在地から目的地へ、その道筋をひとつひとつ繋いでいく作業を、映像を「見る」という体験の中で実感していただければと思います。

—吉田理沙

## ■制作コンセプト

「私たちは何を“見て”いるのか」

「見る」ことに特化した映像という媒体を用い、本来ならば「見る」対象となり難い素材を、記録し、切り取り、そこに出現する様々な質感を画面に落とし込む。

映し出されたものは時に、手で触れてその存在を確かめること以上に、

自身の記憶と呼応し合い、確固たる存在感を持ち得る。

「見る」ことでその質感に、目で触れる。

実体を越えたより潜在的な記憶に触れるきっかけを作り出したい。

## ■お問い合わせ

オリエンタルデザインギャラリー 082-240-9463(直) 受付時間 11:00~20:00

※講演会・レセプションの開催はございません。

## ■吉田理沙 Risa Yoshida プロフィール



1985年 東京都生まれ

2012年 多摩美術大学大学院美術研究科 彫刻専攻 修了。

在学中は主にコンクリートを素材としたインスタレーションを制作し、制作における「素材」との関わり方をテーマとする。2013年より、実写映像を用いたインスタレーションを制作しはじめ、それまでの実材を用いた表現から、映像を取り入れた表現へと変化する。「見る」ことを通して「触覚的」な、ものの捉え方を探っている。

『群馬青年ビエンナーレ』(2012 奨励賞、2015 入選/ 群馬県立近代美術館) / 『そこまでは おぼえている』2013 / 『多摩美映像フェスティバル in アキバタマビ 21』2015 (3331Arts Chiyoda アキバタマビ 21) / 『ゲンビどこでも企画公募 2014』(オリエンタルホテル広島賞 / 広島市現代美術館) / 『中之条ビエンナーレ 2015』(群馬県中之条旧第三小学校)、その他個展、グループ展多数。

ホームページ <http://risayoshida.com/>

---

## 【本イベントに関するお問い合わせ先】

オリエンタルホテル広島 セールス&マーケティング部 PR TEL:082-240-9462(直) FAX:082-240-9460

〒730-0026 広島市中区田中町 6-10

山根 春菜 E-mail:haruna.yamane@oriental-hiroshima.com

※画像のデータをお送りいたします。上記電話番号またはメールアドレスまでご連絡ください。